

時代は再エネ100%

再エネは
売る時代から
使う時代へ

PVasis

画期的



系統連系しないPV自家消費

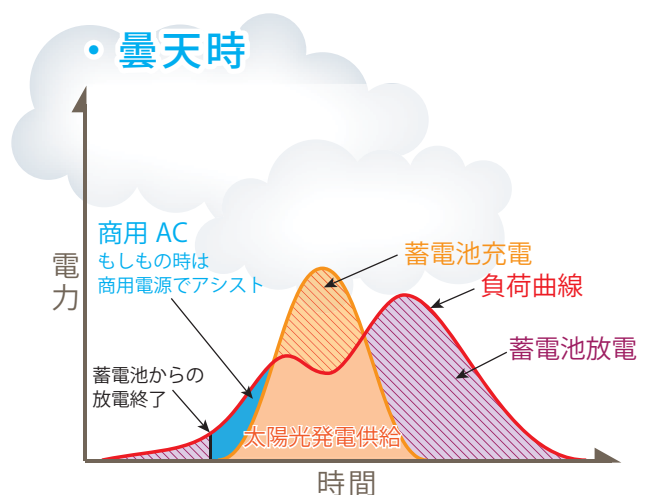
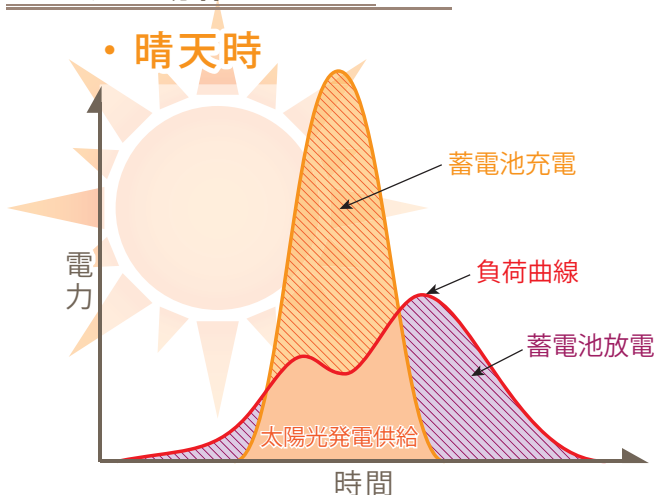


簡単構築!!

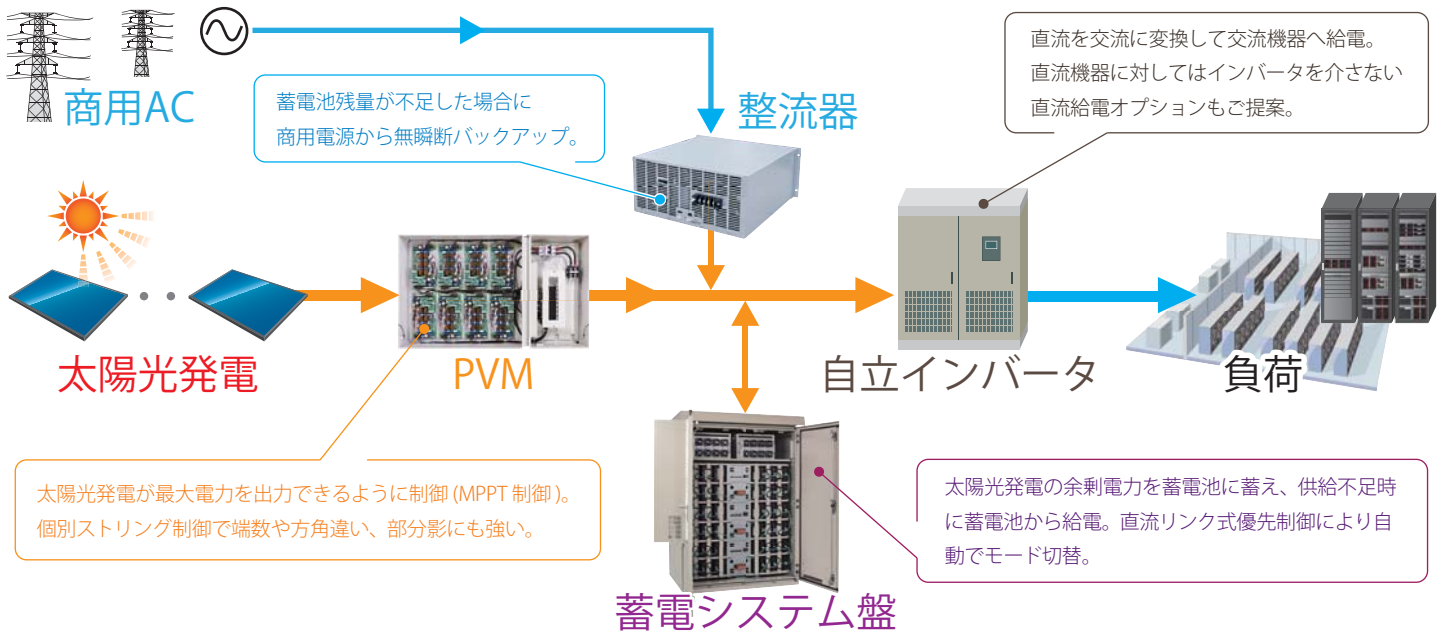
しかも、**停電しても停まらない**。(BCP機能搭載)

系統連系式も可能です。お客様に適した構成を提案しますので、一度ご相談ください。

システム動作イメージ



システムイメージ



類似事例

優先制御により高い可用性を実現したシステム

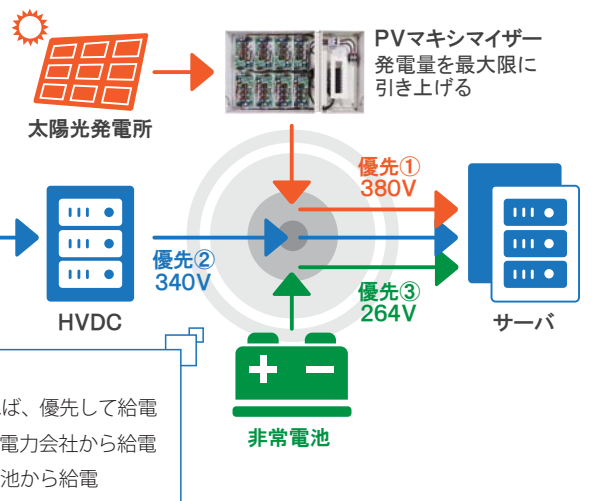
さくらインターネット様では、北海道石狩市にて大規模なデータセンターを運営されています。このデータセンターでは、太陽光発電の電力を優先的に消費する直流リンク式の優先制御に弊社のPVマキシマイザーが採用されています。

ニプロンの蓄電池付き太陽光発電システムは

『直流リンク式優先制御』を採用。

太陽光発電の電気を最優先に使います。商用バックアップ付きなので雨天続きでも安心。直流電圧による自律制御で装置間の通信も不要。施工性、拡張性にも優れています。

PVasis



優先制御の仕組み

- ① 太陽光が発電していれば、優先して給電
- ② 太陽光がなくなれば、電力会社から給電
- ③ 停電になれば、非常電池から給電

用語集

RE100

「Renewable Energy (再生可能エネルギー) 100%」の略で、将来的に事業運営を100%再エネで行うことをコミットした企業による国際イニシアチブ。2014年に発足し、2018年2月現在、製造業からサービス業までの幅広い業界において、各グローバルリーダー企業を含む125社が加盟。自社だけではなく、サプライヤーにも再エネ使用の推進や支援を行う企業もあり、影響力が高まっている。

ZEB

「net-Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略で、快適性を保ちながら、出来る限り省エネに努め、さらに太陽光発電等による創エネによって、エネルギー消費を大幅に削減した建築物。省エネ率により、ZEB Ready (50%以上)、Nearly ZEB (75%以上)、ZEB (100%以上) に分けられる。2014年のエネルギー基本計画では、2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均でのZEB実現を目標とした。

系統連系

発電設備を電力会社の送電線や配電線に接続して運用すること。電力系統の安定運用や電力品質確保のため、系統連系する発電設備は「電力系統連系技術要件ガイドライン」に準拠することが求められ、その条件について電力会社と個別協議する必要がある。ただし、同ガイドラインでは、発電設備が交流回路で接続している状態を系統連系と指し、整流器等を介して直流回路を接続する状態は除外される。

RPR

「Reverse Power Relay (逆電力継電器)」の略で、発電設備から電力系統へ電力が流れる (逆潮流) ことを検出する継電器。系統連系する発電設備を設置し、電力会社と逆潮流無しで契約する場合、それを担保するためキュービクル内にRPRを追加し、逆潮流時には発電設備を停止または解列させる。発電設備の設置費用に加え、キュービクル改造や通信線敷設などの工事費用がかかる。